

# はるか

VOL.4

2000.2

特集 ▶ 「ジェンダー」ってなあに？

自分らしく生きている人は

きっと

自分を大切にしてる人。

世界中で

たった一人の私。

もっと好きになろう。



# 特集 ジェンダーってなあに!?

生まれたばかりの赤ちゃんは、男女の性別は決まっていますが、  
まだこのときは女らしさや男らしさを身に付けているわけではありません。

育っていく過程で、女は優しく愛想よく、男は強くたくましく  
などと言われ続け、女らしさや男らしさを身に付けていくのです。

ジェンダーとは、生物学的な男女の違いではなく、社会的・文化的につくられた性差のことを言います。



## ジェンダーフリーな社会をめざそう!!

これからは男性、女性にとらわれずに自分の能力や行動、生き方を広げる  
ジェンダーフリーな社会をつくっていききたいですね。

そのためには、家庭・職場・地域・学校・メディアなど  
毎日の生活や人間関係に何気なく縛られているジェンダーに気付くことが大切です。  
まずは、左のページのジェンダーチェックをやってみてください。

# ジェンダー チェック

## START

やっぱり女は女らしく男  
は男らしくが良い

はい

いいえ

やっぱり女の幸せ  
は結婚だ

女性あまり出しゃ  
ばらない方が良い

お茶は女性が入  
れた方が当然おい  
しいよね

デートの費用は男性  
が持つべきだ

男の子が泣くの  
を見ると、男の  
くせにと情けな  
くなる

結婚したら男は家  
族を養うもの

リーダーシップが  
あるのはやっぱり  
男性だ

子育ても、良い仕  
事もと望む女性は  
わがままだ

食事の支度や  
後片付けは男  
性もこまめにす  
るべき

町内会の会合にい  
つも出席するのは  
妻だが、名簿には  
夫の名前を書く

運動会のお弁当作  
りはもちろんお母  
さんの仕事です  
よね

子どもが小さいう  
ちは母親が外で働  
かない方がい  
いよね

女性は結婚したら  
家庭が第一で家  
を守るもの

男性も女性も、結  
婚していてもい  
なくても仕事をして  
いる方がいい

仕事のできる男性  
は育児休業を取  
らない方がいい



### A

#### トホホ… ジェンダーに がんじがらめ

そういう気持ちもわからないわけじゃないけど、女だって男だって同じ人間。女であること、男であることに、ちょっとこだわりすぎているのではないですか？



### B

#### まだまだ ジェンダーに しばられています

世の中変わってきています。「女らしさ」「男らしさ」よりも「自分らしさ」を大切にしていきませんか。気持ちも楽になるはずですよ。



### C

#### かなり ジェンダーから 開放されています

あなたは、ジェンダーフリーな考え方を持っています。この調子で世の中にもまだまだある、女であること、男であることへのこだわりを考えてみませんか。



## INFORMATION

## 第17回 かすがい女性のつどい

## テーマ 「わたしを活かす」

あなたは家庭・職場・地域で窮屈な思いをしていませんか

わたらしさを発揮するために...

使いこなそう男女共同参画社会基本法



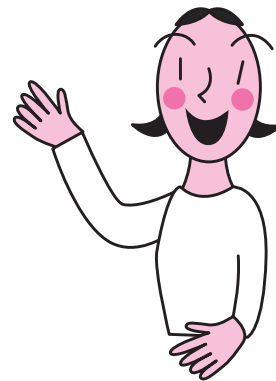
- と き / 3月20日(祝) 午前10時20分～午後3時30分
- ところ / レディヤンかすがい 多目的ホール
- 講 師 / 三井マリ子氏 女性政策研究家。東京都議会議員を2期経て、現在、法政大学法学部で「政治とフェミニズム」の講義を担当。
- 主 催 / 春日井市、かすがい女性連盟
- 自由参加 ●託児(要予約)・おやこ室有り ●手話通訳を行います

## 日 程

10:20 開会式  
10:30  
|  
講演会  
12:30  
|  
休憩  
13:15  
|  
分科会  
15:00  
|  
全体会  
15:30

## 分 科 会

|       |                                        |
|-------|----------------------------------------|
| 第1分科会 | 社会 決定的場、見わたせば男ばかり                      |
| 第2分科会 | 職場 働き続けるために 今、職場で<br>—派遣法、リストラ、セクハラ... |
| 第3分科会 | 家庭 しつけ?おしつけ?児童虐待                       |
| 第4分科会 | 教育 メディアがつくるジェンダー                       |
| 第5分科会 | 介護—<br>福祉 男が変われば福祉が変わる<br>家族で介護は支えきれない |



問い合わせ  
託児の申し込み

青少年女性課

☎ 85-6152

参加してください!!

## 女性のつどい参加者の声

前回の「かすがい女性のつどい」は、平成11年3月、上野千鶴子氏と中里見博氏を講師に招き、「ジェンダーと暴力」について講演していただきました。

そのときの参加者の声を紹介します。

●これからの社会で、私自身強く生きていく女性になりたい。若い世代がより努力していかねばならないと思いました。

●自分自身の中に持っている思い違いに気付かされることができました。息子への接し方にとっても参考になりました。

●目からウロコが落ちる思いで聞きました。

●日ごろの思いを言葉にできずにいる多くの女性たちにとって、上野さんの問題の核心を突く話に胸のすく思いがしました。

●現場の女性の声が聞けて良かった。女性としての意識改革に努めようと思いました。

前回は、幅広い年齢層から、約400人が参加しました。また市外からも多くの参加があり、「かすがい女性のつどい」が注目されていることがわかります。

今回の「かすがい女性のつどい」は、女性政策研究家の三井マリ子氏を迎え、「わたしを活かす」というテーマでお話していただきます。また、その後5つの分科会に分かれ、皆さんの意見交換の場を設けます。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

■次号は10月に発行です  
はるかに対するご意見ご希望をお寄せください